

令和7年 第4回 大仙市議会定例会

市政報告

令和7年11月28日

大仙市長 老松博行

令和7年第4回大仙市議会定例会にあたり、諸般の状況について申し上げます。

はじめに、ツキノワグマによる被害についてであります。

春先から、市内各地でクマの目撃情報が多く寄せられていたことから、猟友会や警察をはじめとした関係機関と連携を図りつつ、被害の未然防止と緊急時の体制整備にあたってきたところでありますが、10月以降、目撃件数が急増し、11月26日現在の目撃件数及び捕獲頭数は、過去最多となった令和5年度を上回る1,046件と160頭になっております。特に今年は、クマの餌となる木の実が大凶作となったこともあり、餌を求めて人里に降りてくるクマが多く、市街地での出没が相次ぎ、本市においても6件の人身被害が発生するなど、深刻な事態となっております。

被害に遭われた皆様に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い回復をお祈り申し上げます。

こうした事態を受け、市では出没情報の発信や注意喚起に加え、全庁体制での巡回パトロールの実施や、各小中学校へのクマよけスプレーの配備、市が主催する屋外イベントの中止などの対策に加え、緊急銃猟の実地訓練を通じ、関係機関と有事の際の迅速な対応を確認し、共有したほか、10月27日には、クマの捕獲に係る経費や、緊急広報に係る

経費の専決処分をさせていただいたところであります。

また、11月15日から、児童館や体育館など27の公共施設を無料開放し、こどもが安心して遊べる環境を確保したほか、11月18日と26日の両日には、陸上自衛隊秋田駐屯地の皆様から、箱わなの設置や撤去作業の支援をいただいております。

11月に入り、目撃件数は減少傾向にあるものの、依然として出没や被害が確認されている状況にあり、この傾向は今後も続くものと見込まれることから、対策のさらなる強化を図るため、多くの申請が寄せられている誘引樹木の伐採に対する補助金の追加と、クマの捕獲に係る新たな奨励金について、今次定例会に予算の補正をお願いしております。

国においても、今年のクマ被害を非常事態と捉え、11月14日に「クマ被害対策パッケージ」が閣議決定されたところであり、こうした支援メニューも活用し、引き続き関係機関と緊密に連携を図りながら、足下の対策はもとより、中長期視点に立った抜本的な対策にも取り組んでまいります。

市民の皆様におかれましては、これまでにない危険な事態であることをご理解いただくとともに、「山に近づかなければ大丈夫」あるいは「自分だけは大丈夫」といった意識を改めていただき、常にクマに遭遇するリスクがあることを念頭に、引き続き、基本的な対策を徹底していただきますようお願い申し上げます。

次に、「大曲の花火」についてであります。

「第 97 回全国花火競技大会」が、8月 30 日、国土交通省をはじめ秋田県警や広域消防、消防団など関係機関の皆様のご協力のもと、盛大に開催されております。当日は、天候が心配されたところでありましたが、打ち上げが始まる頃には回復し、全国からご参加いただいた 28 の花火業者が、技術の粋を詰め込み、夜空に大輪の花を次々と咲かせ、多くの花火ファンを魅了しております。

また、「交響詩フィンランディア」と題した大会提供花火は、世界各地で紛争が絶えない中、「大曲の花火憲章」が掲げる、平和への祈りと未来への希望が、全世界に届くようにとの願いを込めて、壮大な演出のもと、打ち上げられており、会場の皆様にもメッセージを感じ取っていただけたものと思っております。

10月 4 日には、「大曲の花火 秋の章」が開催されており、地元花火業者による芸術花火や、若手花火師によるプロデュース花火が打ち上げられたほか、ドローンショーや、過去に新作花火コレクションで行われていたメッセージ花火を復活させ、地域への感謝や、偉大な先人たちへの追悼の想いが込められた花火が、秋の夜空を彩っております。

次に、主な部局ごとに諸般の報告を申し上げます。

はじめに、企画部関係についてであります。

女性の活躍推進につきましては、10月20日、花火伝統文化継承資料館はなび・アムを会場に「総務省出前講座」を開催しており、約40人の皆様にご参加いただいております。今回の講座では、総務省国際統計管理官の永田真一氏を講師にお迎えし、「心から楽しく暮らしが続けられる大仙市に」と題し、統計データを読み解きながら、女性活躍推進やダイバーシティ分野を担当されたご経験を交えつつ、多様な価値観を尊重しあう社会づくりについて、ご講演をいただいております。

次に、市民部関係についてであります。

市民アンケートの結果を受けて整備を進めてきた「市営合葬墓」につきましては、11月7日に供用を開始しております。これまで自宅にご遺骨を保管されていた方や、既に墓じまいを済ませた方などを対象に納骨を受け付けており、11月26日現在、19人の皆様からお申し込みをいただき、27体のご遺骨を納めております。

次に、健康福祉部関係についてであります。

「大仙市戦没者追悼式」につきましては、9月19日、仙北ふれあい文化センターを会場に、戦没者遺族をはじめ関係者71人の参列のもと、開催しております。また、同日には、「第58回一般財団法人秋田県遺族連合会・大仙市・仙北市・仙北郡戦没者遺族地方大会」も

開催されており、戦後80年企画として、広島市における原爆被害の実相を、VR映像で疑似体験できるコーナーを設置したほか、慰靈巡拝の写真パネルの展示や、高校生が描いた原爆の絵画展が行われております。戦後80年の節目にあたり、先の大戦を振り返り、戦没者の皆様を追悼するとともに、「非核平和宣言都市」として、恒久平和への願いを新たにする有意義な機会になっております。

「健幸まちづくりプロジェクト」につきましては、9月7日、本市と連携協定を締結する企業各社のご協力のもと、国指定史跡「払田柵跡」を会場に「健幸モーニングウォーク」を開催しております。当日は315人の皆様にご参加いただき、元プロ野球選手の宮本慎也氏によるトークショーや体組成計による測定体験、健康に関するイベントなどを楽しみながら、爽秋のウォーキングを満喫していただいております。

また、10月31日には、健幸まちづくりプロジェクトの開始から5周年を記念し、大曲エンパイヤホテルを会場に「健幸フェスタ in DAISEN」を開催しており、市民をはじめ121人の皆様にご参加いただいております。当日は「株式会社 タニタ」代表取締役社長 谷田千里氏を講師にお迎えし「健康で幸せに暮らせる街、DAISEN！」と題してご講演をいただいたほか、市内でフィットネス事業を展開する「株式会社フィールド」の協力による「座ってできるフィットネス」や、タニタカフェ監修の「特別メニュー」の試食会を行ったところであり、

健幸まちづくりのさらなる推進に向けた機運を高め、「健幸の輪」が大きく広がる機会になったものと思っております。

次に、こども未来部関係についてであります。

ヤングケアラーへの対応につきましては、令和4年度に実施した市独自の調査結果を受けて、相談体制の強化や理解の促進に努めてきたところですが、昨年の「子ども・若者育成支援推進法」の改正により、ヤングケアラーの定義が明確になったことを受け、市内の学校に通う小学4年生から高校3年生までの児童生徒と、小中学校及び高等学校を対象に、アンケート調査を実施しております。現在、回答の集計作業を進めているところですが、その結果を受け、優先的な支援が必要と認められる児童生徒については、プライバシーや心情に配慮し、関係機関と連携を図りながら適切にアプローチするとともに、ケースに応じて必要な支援につなげてまいります。

子育て支援につきましては、物価高騰の影響を受ける子育て世帯への支援として、10月に小学校の給食費無償化を開始したところであり、18歳までの子どもの「医療費無償化」、全年齢層の「保育料無償化」そして義務教育における「給食費無償化」と「3つの無償化」を実現したところであります。

今後も、「こどもまんなか社会」の実現に向けて、様々な機会を通じ

てこどもや若者、子育て世代の声を伺い、その声や目線を各種施策に取り入れながら、地域全体で「こどもや子育て世帯に寄り添い、子育てにやさしいまちづくり」を推進してまいります。

次に、農林部関係についてであります。

稻作につきましては、これまでの「作況指数」に代わり、より生産現場の実態に近いとされる「作況単収指数」が導入されており、10月25日現在、全国で102の「やや良」、秋田県及び県南では103の「やや良」と発表されています。11月26日現在のJA秋田おばこ管内における1等米比率については、夏の異常気象の影響が心配されたものの、98.5%と、前年産米と比較し高い水準となっております。また、米価につきましては、急速なインバウンド需要の回復などによる外食需要の増加や、コメ不足に端を発した調達競争の長期化など、複数の要因が重なり、高止まりが続いております。

稻作を基幹に位置付ける本市にとりましては、農業所得の向上につながるものと大いに期待するところでありますが、その一方で、消費者離れが懸念されるほか、生産コストの上昇など、生産現場は依然として厳しい状況が続いております。こうした現状を踏まえ、農業者の皆様が、意欲を持って持続的に農業に取り組むことができるよう、国や県の動向を注視しながら、次期「農業振興計画」の策定を進めてまいります。

次に、経済産業部関係についてであります。

企業誘致につきましては、9月4日、プログラム開発やITインフラの構築などを手がける「株式会社エーオー」と立地協定を締結しており来年4月に、「コミュニティースペース GATHER」で事業を開始する予定と伺っております。同社は、IT人材の社内育成を積極的に推進しております、多様な働き方ができる若者の雇用の受け皿として、大いに期待しているところであります。今後も、若者が希望するライフデザインを描くことができる、こうした企業の誘致に積極的に取り組んでまいります。

次に、観光文化スポーツ部関係についてであります。

観光振興につきましては、インバウンド観光事業として、10月4日と5日の両日、旧本郷家住宅を会場に「日本のお祭り」体験イベントを開催しております。このイベントは、市を代表する観光資源である「大曲の花火」を核に、伝統文化や郷土芸能などの体験を結び付けた周遊旅行商品のモニターツアーとして実施したもので、「大曲の花火秋の章」にあわせたインバウンド誘客の拡大に向け、「日本航空株式会社」の客室乗務員1名と、「国際教養大学」の学生6名にモニターとして参加いただき、観光に関わる事業者や若者の目線で貴重なご意見をいただいております。

「第45回全県500歳野球大会」につきましては、2日間の雨天順延を挟み、9月21日から6日間の日程で、神岡野球場を主会場に市内18会場で開催されており、全県から182チームが参加しております。大熱戦の末、秋田市の牛島クラブが6年ぶり4回目の優勝を飾っており、「第31回世界少年野球大会秋田大会」の開催を記念し、創設された「王貞治杯」を手にしております。

次に、建設部関係についてであります。

「国道13号大曲・秋田間整備促進期成同盟会」並びに「高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会」につきましては、10月28日から11月19日までの間、秋田県選出国會議員や内閣官房、財務省、国土交通省、秋田県などに対し、集中的に要望活動を行っております。

これにあわせ、今年6月に策定された「第1次国土強靱化実施中期計画」のもと、近年の資材価格上昇や人件費高騰を踏まえた予算の充実や、防災・減災・国土強靱化の取組の継続的、かつ安定的な推進などについて、強く要望しております。

次に、教育委員会事務局関係についてであります。

学校再編につきましては、中仙、仙北、太田の各地域において、小中学校の保護者をはじめ、地元代表者や認定こども園、学校の関係者を

メンバーとする学校再編検討委員会を立ち上げ、3地域の学校再編の方向性についてご協議いただき、答申をいただいたところであります。

この答申に基づき、現在「第二次大仙市学校規模適正化推進計画」の策定作業を進めており、今次定例会最終日の本会議終了後、議員全員協議会において概要をご説明申し上げることとしております。

市民が主役のまちづくり講座「大仙アカデミー」につきましては、10月15日、グランドパレス川端を会場に開催しており、約180人の市民の皆様にご参加いただいております。今回の講座では、デジタル庁のオープンデータ伝道師を務められている武藏大学社会学部メディア社会学科 教授の庄司昌彦氏を講師にお迎えし、「AIと関係人口から考える地域のデジタル・トランスフォーメーション」と題して、進化を続けるAI技術の活用や関係人口の事例を交えながら、地域におけるDXの在り方についてご講演をいただいております。

最後に、令和8年度の当初予算編成について申し上げます。

本市の財政見通しにつきましては、高水準の賃上げや企業の堅調な設備投資、個人消費の回復基調などを背景に、昨年に引き続き市税収入の一定の伸びが期待されるものの、不安定な社会情勢などから、依然として先行きは不透明な状況にあります。また、今般の国勢調査の結果によつては、歳入の約4割を占める地方交付税に大きな影響が生じる可能

性があり、今後も厳しい財政運営が続くものと考えております。

一方で、歳出については、長引く物価高騰による公共施設や、学校施設の維持管理費などの経常経費に加え、利払い費や人件費の増加が見込まれる中、子育て支援をはじめとする重点施策や、持続可能な社会の実現に向けたDXやGXの推進、学校施設の再編などの社会基盤の更新も着実に進めていく必要があります。

各種財政指標につきましては、市債発行額の抑制や各種基金への積み増しなど、これまでの財政健全化に向けた取組により、着実に改善が図られているものの、毎年度の財政運営にあたっては、各種基金の取り崩しに大きく依存した状況が続いているほか、屋内遊び場施設整備事業などの大型公共事業が本格化することから、将来を見据えた財政基盤の構築が急務となっております。

こうしたことを踏まえ、令和8年度当初予算は、「第3次大仙市総合計画における主要な施策と事業の推進」「将来を見据えた行財政基盤の構築」を基本的な考え方として、「選択と集中による事業の重点化」や「新たな財源の確保策の検討」「市主催イベントのあり方の見直し」などの視点のもと、日々変化する社会情勢や市民ニーズを的確に捉えつつ、10年先を見据えた予算編成に取り組んでまいります。

これに先立ち、国においては、「総合経済対策」の裏付けとなる補正予算が、本日、閣議決定される予定となっており、今後、その早期成立

を図り、食料品をはじめとした物価高騰への対策をはじめ、多岐にわたる対策を講じることとしております。市といたしましても、今般の経済対策と補正予算の動向を注視しながら、国や県と歩調をあわせつつ、市民の皆様が真に必要としている対策を、機動的、かつ重点的に講じてまいります。

以上、諸般の状況をご報告申し上げましたが、今後とも、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げまして、市政の報告とさせていただきます。

別添

令和7年第4回大仙市議会定例会

市政報告（諸般の報告）

令和7年11月28日

大仙市

目 次

【市民部】

1 公共施設への EV 普通充電器の設置について	1
2 第 2 回エコドライブ選手権について	1
3 だいせんタベスケについて	1
4 大仙市安全安心推進集会について	1

【健康福祉部】

5 大仙市金婚式について	1
--------------------	---

【農林部】

6 第 19 回大仙市秋の穏りフェアについて	2
7 鮭資源確保活用事業について	2

【経済産業部】

8 「大仙市首都圏企業懇話会」について	2
9 「大曲の花火－秋の章－」小学生観覧について	2

【観光文化スポーツ部】

10 友好交流都市との交流事業について	3
11 インバウンド観光事業について	3
12 文化財の保存・活用について	3

【建設部】

13 雄物川激甚災害対策特別緊急事業完成式について	4
---------------------------------	---

【教育委員会事務局】

14 「こころのプロジェクト 夢の教室」について	4
15 第 21 回大仙市民交流囲碁大会及び 第 18 回大仙市子ども囲碁大会について	4
16 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて	4
17 第 42 回東北将棋大会並びに 第 20 回大仙市民交流将棋大会について	5
18 「だいせん読書の日」関連イベントについて	5
19 「出張！なんでも鑑定団 in 大仙」について	5

20 大仙市音楽祭 2025について 5

【上下水道局】

21 上水道事業について 6

22 簡易水道事業について 6

23 下水道事業について 6

【経済対策】

24 物価高騰対策 6月定例会 6

25 物価高騰対策 9月定例会 7

【市民部】

1 公共施設へのEV普通充電器の設置について

エネチェンジ株式会社との協定に基づき、公共施設の駐車場に設置を進めてきた電気自動車用のEV普通充電器につきましては、「大綱交流館」と「中里温泉」の2施設それぞれに2台を設置しており、9月に運用を開始しております。

市の公共施設駐車場へのEV普通充電器設置数は14施設44台となり、当初予定していたすべての箇所への設置が完了しております。

2 第2回エコドライブ選手権について

「第2回エコドライブ選手権」につきましては、連携協定を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社のご協力のもと、10月を実施期間に、昨年に引き続き開催しております。職場の同僚や家族、友人などでペアを組んだ132チームに参加いただいており、脱炭素社会の実現に向けた理解を促進し、主体的な行動を後押しする貴重な機会になったものと捉えております。

3 「だいせんタベスケ」について

新たな食品ロス削減対策として9月にスタートしたフードシェアリングサービス「だいせんタベスケ」につきましては、11月27日現在、40の店舗と1,328人の皆様に登録をいただきしており、これまでに、243kgの食品ロス削減につながっております。

4 大仙市安全安心推進集会について

「大仙市安全安心推進集会」につきましては、10月16日、交通安全、防犯、防災、青少年健全育成などの関係団体、約200人の皆様のご参加のもと、太田文化プラザにおいて開催しております。当日は、功労者の表彰に加え、秋田県生活環境部自然保護課から講師をお迎えし、クマ被害防止対策をテーマに講演をいただいたほか、地元保存会による横沢ささらの演舞などが行われております。

【健康福祉部】

5 大仙市金婚式について

大仙市金婚式につきましては、10月21日、仙北ふれあい文化センターを会場に開催しており、申し込みのあった44組のご夫婦の結婚50周年を祝福しております。

【農林部】

6 第19回大仙市秋の稔りフェアについて

第19回大仙市秋の稔りフェアにつきましては、10月18日と19日の両日、大曲ヒカリオイベント広場や花火通り商店街などを会場に開催しております。初日は、あいにくの雨模様となりましたが、2日間で約2万1千人の皆様にご来場いただき、「だいせん軽トラ市」での農産加工物販売のほか、地場産食材を使用した「うまいもの食堂」や商工業展示、初開催となる「こどもプロレス祭り」をはじめとした各種ステージなど、多彩なイベントをお楽しみいただいております。

7 鮭資源確保活用事業について

鮭資源の確保活用事業につきましては、9月25日と28日の両日、それぞれ丸子川と玉川に遡上するサケを捕獲する「ウライ」を設置し、親魚の捕獲と採卵を開始しております。11月25日時点で406尾を捕獲しており、昨年の同時期比で44%程度となっております。全国的に不漁が続いているが、引き続き放流に必要な卵数の確保に努めてまいります。

【経済産業部】

8 大仙市首都圏企業懇話会について

大仙市首都圏企業懇話会につきましては、誘致企業の本社をはじめ、立地を検討されている企業や本市に縁のある企業43社の関係者、並びに地元選出国会議員、後藤議長、安達産業建設常任委員長、商工団体など総勢62名の参加のもと、11月11日、東京都において開催しております。

懇話会では、6月に立地協定を締結した「京都グレインシステム株式会社」取締役会長の田宮尚典氏から、本市への進出の決め手などにも触れながらご講演をいただくななど、活発な情報交換が行われております。

9 「大曲の花火ー秋の章ー」小学生観覧について

「大曲の花火ー秋の章ー」の小学生無料観覧につきましては、花火ふるさと教育の一環として、市内の小学3年生と6年生、その保護者をあわせた288人の皆様を対象に観覧の機会を提供し、「大曲の花火」をお楽しみいただいております。

【観光文化スポーツ部】

10 友好交流都市との交流事業について

国内の友好交流都市との交流につきましては、9月27日と28日の両日、「宮古市産業まつり」に参加しております。新たな取組として、オープニングセレモニーにおいて、ドンパン娘の皆様にドンパン節を披露していただいたところであり、会場を大いに盛り上げるとともに、本市の魅力を存分にPRしております。

宮崎市との交流につきましては、11月1日と2日の両日、後藤議長をはじめ市議会議員、民間団体の皆様とともに「宮崎神宮大祭」に参加し、本市の魅力をPRしております。

座間市との交流につきましては、11月2日と3日の両日、市内のサッカースポーツ少年団17名と監督やコーチ5名が座間市を訪れ、交流試合やレクリエーションを通じて、座間市内の選抜チームとの交流を深めております。また、11月8日と9日の両日、後藤議長をはじめ、市議会議員の皆様とともに「座間市民ふるさとまつり」に参加しており、宮古市との交流に続き、ドンパン娘の皆様によるドンパン節の演舞を通じ、本市の魅力をPRしております。

11 インバウンド観光事業について

インバウンド観光事業につきましては、11月6日から4日間の日程で、昨年に引き続き、台湾最大の旅行博覧会「台北国際旅行博」に参加し、現地旅行事業者との商談会を行ったほか、本市の魅力や観光資源を旅行関係者にPRしております。

12 文化財の保存・活用について

文化財の保存・活用につきましては、国指定史跡「払田柵跡」での古代体験ワークショップや、旧本郷家の茶道体験教室、旧池田家洋館での大正ロマンカフェなど、子どもから大人まで親しみやすいイベントを多数開催しております。参加者の皆様からは「また参加したい」との声を多くいただきており、幅広い世代に文化財施設の魅力を発信する機会になっております。

また、昨年に引き続き、鈴木空如が残した「法隆寺金堂壁画模写」の第1作目の表装を実施するため、10月20日からクラウドファンディングを受け付けております。11月27日現在、目標額200万円に対して全国各地から163万5千円のご寄附とともに、温かい応援メッセージをいただいております。

【建設部】

13 雄物川激甚災害対策特別緊急事業完成式について

雄物川激甚災害対策特別緊急事業完成式につきましては、10月19日、国土交通省東北地方整備局湯沢河川国道事務所及び秋田河川国道事務所の共催により、関係者91人の参加のもと、大綱交流館を会場に、盛大に開催されております。

【教育委員会事務局】

14 「こころのプロジェクト 夢の教室」について

スポーツや芸術において第一線で活躍された方を、「夢の先生」として小・中学校にお招きする「こころのプロジェクト 夢の教室」につきましては、11月19日と20日の両日に実施しております。今年度は、南外小学校、南外中学校、豊成小学校、清水小学校を対象に、プロスポーツ選手ら2名の夢先生に来校していただき、「一緒に運動する時間」や「トークの時間」を通じて夢先生と触れ合い、夢をもつことや、その実現に向けて努力する大切さを理解する貴重な機会となっております。

15 第21回大仙市民交流囲碁大会及び第18回大仙市子ども囲碁大会について

「第21回大仙市民交流囲碁大会」及び「第18回大仙市子ども囲碁大会」につきましては、9月7日、大曲交流センターを会場に開催されております。当日は、公益財団法人日本棋院に所属するプロ棋士を審判長としてお招きし、対局を通じて技術の研鑽と世代や地域を越えて交流を深めております。また、初心者囲碁入門教室も行っており、囲碁に親しむ機会を通じて交流が図られるとともに、囲碁文化の継承にもつながる貴重な機会となっております。

16 大仙市ふるさと探訪楽園ツアーについて

大仙市ふるさと探訪楽園ツアーにつきましては、秋のツアーとして9月の太田地域歴史・文化探訪を皮切りに、4つのコースで実施しております。ふるさとの魅力を再認識するとともに、健幸まちづくりプロジェクトやふるさと博士育成事業との連携により、健康づくりや地域の学びを深める機会となっております。

17 第42回東北将棋大会並びに第20回大仙市民交流将棋大会について

「第42回東北将棋大会」並びに「第20回大仙市民交流将棋大会」につきましては、11月3日、大曲交流センターを会場に開催されております。日本将棋連盟及び日本女子プロ将棋協会に所属するプロ棋士4名をお招きし、東北各地の実力者同士による名人戦をはじめ、実力に応じたクラスごとの対戦を通じて交流を深めております。

また、本大会の関連イベントとして「小学生将棋対抗戦」が開催され、大仙市内外の小学生による熱戦が繰り広げられたほか、前日イベントとして「将棋指導講習会」も実施しており、プロ棋士を講師に、初心者にも分かりやすいご指導をいただいております。

18 「だいせん読書の日」関連イベントについて

11月6日の「だいせん読書の日」に関連するイベントにつきましては、大曲図書館を会場に、11月6日から18日にかけて、本をあげたい方と欲しい方をつなぐ「ONE BOX LIBRARY」を実施しております。また、市内に在住、在学している方からご応募いただいた推し本を紹介する「わたしの推し本コンテスト」の作品を大曲図書館に展示したほか、各地域の図書館では、「おはなし会」をはじめ、幅広い年代の読書を促進するイベントを実施しております。

19 「出張！なんでも鑑定団 in 大仙」について

大仙市誕生20周年記念アフターイベントの一つである「出張！なんでも鑑定団 in 大仙」につきましては、9月13日、大曲市民会館を会場に開催しており、約800人の皆様にご来場いただいております。市民をはじめ、多くの皆様が番組づくりに関わる本イベントは、全国に本市をPRする絶好の機会になったものと捉えております。

20 大仙市音楽祭2025について

11月8日と9日の両日、大曲市民会館を会場に「大仙市音楽祭2025」を開催しております。初日は、幅広い世代の愛好者による音乐会や、「トルヴェール・クワルテット（サクソフォン四重奏）with 小柳美奈子（ピアノ）」による「プレミアムコンサート」を行っております。2日目には、同じくトルヴェール・クワルテットによる「0歳からのコンサート」を行っており、訪れた多くの皆様にお楽しみいただいております。

【上下水道局】

21 上水道事業について

内小友東部地区での配水管布設工事につきましては、11月上旬に工事を終え、順次給水を開始しております。

また、大曲丸の内町における配水管改良工事及び県事業の電線共同溝整備に伴う配水管移設工事につきましては、工事を終えております。

22 簡易水道事業について

西仙北地域刈和野地区配水管更新事業につきましては、11月下旬に仕切弁設置工事を終え、配水管改良工事を進めているところであります、12月中旬の完成に向け順調に進捗しております。

また、同地域の土川杉沢地区配水管改良工事につきましては、11月下旬に工事を終えております。

23 下水道事業について

農業集落排水施設統合事業につきましては、中仙地域の田ノ尻地区農業集落排水施設を秋田湾・雄物川流域下水道へ接続する管路工事が12月上旬に完成する予定となっております。

また、協和地域の水沢地区と稻沢地区の管路接続工事及びマンホール蓋更新工事は12月中旬に完成する予定となっており、マンホールポンプ施設の機械・電気設備等改修工事は2月下旬の完成に向け、順調に進捗しております。

【経済対策】

24 物価高騰対策 6月定例会

(1) 社会福祉施設等物価高騰対策支援事業

物価高騰に伴う社会福祉施設等の食材費の負担軽減を図るため、施設運営費の一部を助成するもので、8月1日に受付を終え、申請のあった介護保険事業所100事業所、及び障がい福祉サービス事業所20事業所に対し、8月26日に支給を完了しております。

(2) 定額減税補足給付事業

令和6年度に実施した定額減税補足給付事業において給付額に不足が生じた方などに対して追加で給付を実施するものであり、11月13日時点で8,077人へ支給しております。

【経済対策】

25 物価高騰対策 9月定例会

(1) 熱中症予防エアコン購入支援事業

経済的な理由により、自宅内にエアコンを設置されていない低所得世帯等に対し、エアコン本体及び設置費用の一部を助成するもので、11月25日までに74件の申請を受け付け、3,553千円を交付しております。